

作成日：2025年6月7日

学校法人神戸滋慶学園 神戸医療福祉専門学校三田校
2025年度 第1回 学校関係者評価委員会議事録

議事録作成者：今在家 信司

1、開催日時：2025年6月7日（土）13:00～15:00

2、開催方法：ZOOM開催

3、参加者：学校関係者評価委員

田中加代子	近隣関係者（特定非営利活動法人言語障害者の社会参加を支援する会しゃべろーよ地域活動支援センター トークゆうゆう 所長）
五味仁志	高等学校関係者（学校法人松陰女子学院 入試・広報課）
正木健一	業界関係者（一般社団法人理学療法士会 理事）
川端雅生	業界関係者（一般社団法人日本義肢協会 近畿支部 研修委員）
中村元樹	卒業生代表（医療法人社団尚仁会 平島病院 理学療法士）
佐孝まゆみ	保護者代表

学校側参加者

澤村 誠志	神戸医療福祉専門学校三田校 校長
今在家 信司	神戸医療福祉専門学校三田校 事務局長
渡部 匡朗	神戸医療福祉専門学校三田校 事務局次長
大牧 良平	神戸医療福祉専門学校三田校 理学療法士科 学科長
山下 真吾	神戸医療福祉専門学校三田校 作業療法士科 副学科長
今岡 康人	神戸医療福祉専門学校三田校 言語聴覚士科 学科長
柳木 千代美	神戸医療福祉専門学校三田校 救急救命士科 学科長
鎌田 恭子	神戸医療福祉専門学校三田校 義肢装具士科4年制 副学科長

4、会議の概要

- （1）学校代表者挨拶
- （2）2024年度自己点検・自己評価結果報告
- （3）2025年度重点目標の説明
- （4）質疑応答および審議

5、2024年度自己点検・自己評価結果報告

2024年度本校が実施した自己点検・自己評価の内容を下記10項目について説明後、各委員からの質疑応答、そして評価を頂いた。

1. 教育理念・目的・養成人材像
2. 学校運営
3. 教育活動
4. 学修成果
5. 学生支援

- 6. 教育環境
- 7. 学生募集と受け入れ
- 8. 財務
- 9. 法令遵守
- 10. 社会貢献・地域貢献

※自己評価・学校関係者評価の結果参照

【質疑応答】

五味委員) 1. 滋慶教育科学研究所で教育に関する研修をしていますが、何人の規模でしているのか。

2. 資料3の9について、教育活動の1から4、数値化できない教育活動についてどういう評価をしているのかの実践例。テストをして点数つけることができない人間力についての評価、キャリア教育の評価をどういう工夫されているのかを知りたい

3. 募集について、7—26の1と2、やる気を重視した入学選考を実施していくというところで、学校としてどういう評価をしているか

4. 社会人教育について、外国人の教育・入学についてはどういう方向性を持っていますか

今在家) 1. 全国規模で数千の規模になります。

2. キャリアサポートアンケートをひとりひとりWEBで実施して数値化してサポートを行っている。

医療系は客観的なデータで評価されるところで、寄り添う気持ちについては主観的な要素をいかに評価していくかがなかなか難しいところではあります。クレームがつきやすい世の中で少し間違えるとハラスメントになります。実習前のOSCEでチェック項目を多くして、細分化して、感覚的な問題にならないようにしています。

渡部) 3. 8割強がAO入試で入学している現状で適性検査と面接で評価しています。やる気を重視というのは、職業をしっかり理解しているか。4年制課程は4年間、2年制課程は2年間しっかり通うことができるか、覚悟ができて入試で入試をみているか。職業理解が甘く、4年間通う心づもりができていない学生を受け入れると他の学生への影響もあります。そのためにAO入試対策を高校2年生の2月から開催しています。職業理解、志望動機を固められるようなオープンキャンパスで対面でオンラインでも個別に行っています。明日50名近くがAO入試受験しますが、最後の確認を含めて多くの来校がありました。

4. 留学生について、現状は実績としてはございませんが、過去にはタイや台湾の留学生がいました。医療系の国家資格というところで、語学の問題があつたりしますが、今後は受け入れも視野にいられているところですが、今のところ、活動を行っているところはございません。

今在家) 五味先生、高校中学では、認知能力・非認知能力は評価されているのでしょうか？

五味委員) 高校現場でも非常に大きな課題で、その力をどうつけるかも大きな課題です。非認知能力について全国的に取り組んでいる学校もたくさんあると思いますが、人間力につながっていることだと思います。

今在家) 専門学校なので社会人基礎能力を評価していく必要があると思っています。

中村委員) 私の小学3年生の子どもが職業体験に参加して喜んでいました。50名の枠がすぐに埋まるという

ことで、小学生の部、中学生の部で2日に分けたりと希望者多いところを全員が参加できるようにしていただけると保護者としてもうれしいです。

渡部) こうみん未来塾という三田市独自の取り組みで、小さいお子さんもいらっしゃるので安全上の配慮や会場も保護者の付き添いも含めてとなるのですが、小学生、中学生分けるというのは良い案なので、三田市と相談したいです。中学生が参加するのは他のこうみん未来塾の取り組みではないそうなので、中学生を視野に入れた講座を検討したいです。

川端委員) 1. DO率が努力をしているのに増えているのは、学生の質なのか、学校の対応なのでしょう。
2. 予備校では4月からがんばって国家試験の勉強しているほど落ちているので、4月から根をつけると途中で息切れする。夏まではまとめる練習をしていく方がよいのでは。
3. ラジオで万博で滋慶グループが何かをしていると聞いたのですが

渡部) 3. 万博内のホールで滋慶学園グループの大阪のグループ校でダンスや音楽を専攻する学生が「明日への扉」というミュージカルをします。
2. 昨年は雰囲気醸成がうまくいってなかった学科があったので、急に焦ることのないように、まずは4月から雰囲気を作っていきたいです。
1. DOは学力、精神面、体調面と防ぐためには学生とのコミュニケーション、教員、スクールカウンセラーとも連絡を取り合いながら、サポートできる手はないかと検討しています。

今在家) 国家試験とDO率は連動するところがあります。国家試験合格は学科の最低目標なので、それだけに特化するものではなく、どのような職業人になりたいかが大切です。1年からできていないところが国家試験、DOに連動しているので、どうなりたいかという醸成が大事で、意欲がなければ国家試験も通りませんので、一連の指導を強化していきたいです。

渡部) 川端先生、職業像をイメージするときに魅力的な義肢装具士が伝わりやすくなればと思います。学校だけでは難しく、業界の魅力を伝えていくことを業界の方々とも検討させていただきたいです。

佐孝委員) 娘のことで先生方に連絡もらったり、力を貸してもらい、遠い土地で不安でしたが、子どもと先生と保護者で共有できてありがたかったという思いがあります。

渡部・今在家) これからも学校の方でしっかりとサポートしていきたいと思います。

次回は2026年2月を予定しております。